

## 江古田小校長室便り 「温故創新」

H29 (2017)・0703 NO14

校長 伊波喜一

ハンディを 物ともせず 世界中 感謝の言葉 心ゆすぶる

道徳授業地区公開講座の講師を務めていただいたテノール歌手

天野 亨先生は視覚障害者です。そのため、楽譜を見ることが出来ません。音を覚えるのは耳と指からです。健常者の数十倍の努力が必要です。先生は某音楽大学に入学した、初の視覚障害者でした。さぞかし、辛かったり不自由だったりしたのではないかと思っていました。ところが先生は、困難なことにぶち当たる度に（この困難が自分を鍛えてくれる）と捉えて、取り組んできました。ですから、目が見えないことで苦労したというようには、思っていないそうです。

先生曰く「目が見えても見えなくても、違いはない。手が動かなくても、違いはない。みんな、地球の上に生きている同じ人間なんだから」と。その上で、「困っている人がいれば声をかけてほしい。時間があったら、（視覚障害者と）一緒にそこまで歩いてほしいな」と言われていました。 日常で起こる出来事を謙虚にかつ素直に捉え、感謝の心を持つ人の一言は、心を揺り動かします。玄関を出る盲導犬のクラウド君と先生のシルエットが、瞼に焼きついています。